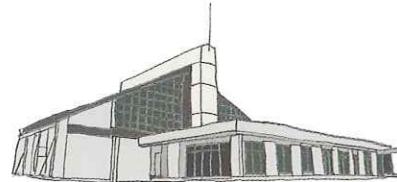


## ⑦多目的研修センター（たもくてきけんしゅうせんたー）



室、図書コーナー、多目的グラウンドなどの施設が地域の文化サークル・スポーツ活動等に活用されています。

## ⑧大沢保育園（おおさわほいくえん）

昭和42年に大沢地区住民によって設立した社会福祉法人大沢みずほ会によって、みずほ保育園として開園しました。平成8年に、社会福祉法人大沢みずほ会と社会福祉法人滝沢村保育協会が合併し、以降、社会福祉法人滝沢市保育協会が運営しています。平成25年に改築され地域の子育ての拠点となっています。



## ⑨大釜八幡宮（おおがまはちまんぐう）



神社の伝えには平安時代後期の1062年、朝廷から派遣された源頼義とその子義家が前九年の役の厨川の戦いのとき必勝を願って社を勧請したといわれています。また、別名を安倍八幡といい、安倍氏討伐感謝のため建設したとも言われています。

## ⑩大釜保育園・幼稚園（おおがまほいくえん、ようちえん）

昭和37年に滝沢市はじめての保育園として開園しました。幼稚園は、昭和44年に地域の方々の強い要請に応え開設しました。学校法人大釜学園が運営し、保育園、幼稚園を卒園した児童数は、これまでに6千余名を超えています。



## ⑪巖鷲山東林寺（とうりんじ）



今から500年前に東顕寺三世、南扇東橋大和尚によって戦国時代の開山と言われています。安土桃山時代現在の東林寺付近に大釜氏の城館があり大釜氏により、当初の太田猪去の地から現在地に移転されたと伝えられている曹洞宗のお寺です。

## ⑫越前堰石碑（えちぜんせき）

安土桃山時代の1576年、雫石城主の相談役綾織越前広信氏が私財で開削した堰で、村人とともに親子2代、34年間かけ完成された32kmの用水路で、岩手県内で最も古い堰と言われています。その結果大釜・大沢・鶴飼・平賀・土淵の近郊の水田が開かれました。



## ⑬風林稻荷神社（かざばやしいなりじんじゃ）



1927年小岩井駅前の大火を機に、個人所有の小高い丘に神域の提供を受けて境内と定めました。現社殿は1965年に造営されました。祭神は榎山稻荷神社から「宇賀之零命・豊受之大神・倉魂之命」の三神を勧請されました。

## ⑭ふうりん保育園

昭和55年に地域の方々の強い要望に応え、社会福祉法人大沢みずほ会により設置、開園しました。現在も社会福祉法人滝沢市保育協会が運営しています。豊かな自然と地域との関わりを生かした、体験を大切にした保育を行っています。



## 篠木神楽（しのぎかぐら） 岩手県指定民俗文化財



篠木神楽は坂上田村麻呂を祀る田村神社の奉納神楽で、岩手山の厨川口で奉仕する社家の斎藤家が代々担ってきた神楽です。そもそも岩手山の修験が担っていた神楽であると考えられているが、いわゆる社風（みやぶり）神楽として盛岡藩によって保護されてきた神楽です。300年以上昔からの形をそのまま伝え文化財的価値がある神楽です。

## 大沢田植踊り（おおさわたうえおどり）

大沢田植踊りを伝承する大沢地区は越前堰によって開墾された水田地帯です。田植踊りは稲の豊穣を祈る予祝芸能で、毎年、小正月を中心に踊られてきました。厳しい自然条件の中で農作業に励んだ農民の豊穣への祈りが込められた民俗芸能で市指定民俗文化財です。



## ⑮小岩井駅（こいわいえき）

JR東日本田沢湖線の駅で一日平均約1千名が利用しています。1921年開業で、1987年国鉄分割民営化により東日本旅客鉄道が引き継ぎました。小岩井農場・宮沢賢治など歴史、文化的な背景から駅舎のリフォームも外観を崩さないようにしてきていました。

大釜駅から4.5kmの場所にあります。

## ⑯大釜駅（おおかまえき）

田沢湖線の駅で一日平均約1千名が利用しています。1921年6月開業で、盛岡から6kmの場所にあります。2階に学童保育所があります。



## 滝沢市立篠木小学校 学区テクテクマップ



### 保存版

画：吉田矩彦

1872年（明治5年）学制が発布され、近代国家の建設が進められました。この年岩手県は盛岡県から改名されました。

篠木小学校は1873年（明治6年）7月に開校された滝沢市で最も歴史のある学校です。

当初は清雲院を校舎として始まり、これまで4度の移転と改築を経て、現在地にあります。

校訓には「進取飛躍」をかけ、進んで物事に取り組む精神を育み、多くの人材を輩出してきました。

1905年（明治38年）には、後の石川啄木の妻となつた堀合セツさんが1年間の代用教員として裁縫を教えていました。篠木綾織に寄宿し、現存する履歴書には月給5円と記されています。

1963年（昭和38年）に制定された校歌には「清い流れの越前ぜき／遠い祖先の人たちが／まごころこめてつくられた／古い歴史のわが学校」とあり、由緒ある歴史と伝統のある学校です。

本地域は、越前堰水系に水田地帯として古くから栄えてきました。大正期に大釜駅（橋場線）が開業し、昭和41年には田沢湖線が全線開通しています。

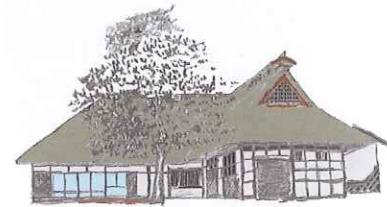
これからも、小学校を中心に、地域の歴史ある、文化を生かし、地域間交流に役立てたく、学区マップを作成いたしました。

### ①



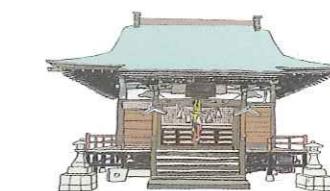
## ②籠屋敷の南部曲り家（かごやしきのなんぶまがりや）

「南部曲り屋」は旧藩政時代から続く、土間を隔てて居間と厩（うまや）が続いたL字型の建築様式。籠屋敷の曲り家では、今でも人間と馬がひとつ屋根の下暮らしています。2013年から地域の方々の協力のもと、屋根の葺き替え作業が始まりました。



## ③田村神社（たむらじんじゃ）

征夷大將軍坂上田村麻呂が岩手山の神に祈願して蝦夷を平定したことから、江戸時代に別当の斎藤氏が自宅の山王社に田村麻呂を合わせて祀り社名を田村神社としました。境内の杉は樹齢千年以上、滝沢市で最大の大樹です。桂は樹齢500年ともいわれます。滝沢市の天然記念物に指定されています。



## ④巖鷲山清雲院（せいうんいん）

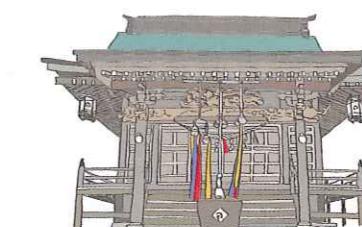
開山は1597年と伝えられる曹洞宗の寺院です。

本堂格天井には大本山福井県永平寺の傘松閣の閣天井と同じ造りの200コマに描かれた花は同じ物がなく珍しい天井で江戸時代の造りといわれています。また境内にある馬頭観音堂は綾織越前広信氏の愛馬を祀っています。



## ⑤熊野神社（くまのじんじゃ）

平安時代後期の前九年の役の時、三重県の熊野の神に祈願して勝利したことを感謝し、源義家が熊野十二所大権現を招いて社殿を建立したものです。後に、江戸時代の1792年に山火事の際に全ての記録を焼失しました。



昭和9年に本殿が改築されました。境内には稻荷神社や山の神などがまつられています。

## ⑥篠木坂（しのぎざか）

篠木坂は、奈良時代700年代に秋田の尾去沢鉱山から銅を運ぶ道として使用されました。

鎌倉時代には源頼朝軍が秋田側から篠木坂を通ったといわれ、経済的にも軍事的にも重要な交通の要所でした。



# 滝沢市立 篠木小学校 学区テクテクマップ

〒 = 郵便局  
公園 = 公園  
屯所 = 屯所

